

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	なごみの家理念は、利用者本位の介護です。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	昼礼時、法人全体の理念、なごみの家の理念を唱和し、確認すると共に理念の実践に向けて日々取り組んでいます。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念は事業者便りへの記載、事業所での掲示するとともに折に触れて家族や地域の方と接する際には事業所の実践を伝えることにしている。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方々にも笑顔の挨拶心掛けるとともに、法人内の畑にて、野菜作りの指導をしていただいたり、野菜や果物の差し入れをいただいたり、包丁を研いいただいたりとお交流をしております。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会とは、運営推進会議をつうじて交流をし、地域のクリーン美里など奉仕作業への参加、ポーピー祭りやコスモス祭り、ふれあい作品展など地域の行事に参加しております。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6 事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>随時、地域の方から認知症の相談を受けています。</p>		
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>情報を共有すると共に、自己評価、外部評価の意味を理解し、アドバイスされたことを活かして具体的な改善にとりこんでいます。</p>		
<p>8 運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月ごとにそこでの意見をサービスの向上に活かしています。</p>		
<p>9 市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>研修への参加や便り等のやりとり、意見の交換などを行っております。</p>		
<p>10 権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>新聞の切り抜きや、資料などを配布し、勉強するようにしています。又現在利用中の利用者の方に青年後見人制度を利用している方がいます。</p>		
<p>11 虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の為に内部研修や資料を通して勉強し、日々注意を払っております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明を行い、納得したうえで契約を行っております。又管理者が窓口となり随時家族の方の相談を受け付けております。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見、不満、苦情などは職員を通し管理者へ、管理者、家族を通し運営推進会議で話し合い運営に反映させております。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の料金支払いに際に各家族の方に来ていただいているのでその際に報告しています。また請求書を送る際に事業所便りおよび手紙を送っております。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情、相談窓口を設け第三者に相談できる環境は整えてあるが、法人本部でも苦情、相談を受け付けている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的に職員会議を行っております。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>母体である法人を通して行っております。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>人事に関しては母体で法人が一括して行っております。移動者や離職者が出た際には、職員間でよく話し合い対策を練るなどして配慮しております。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	目標管理シートを活用し計画をたて育成しています。研修に関しては、研修委員会を立ち上げ内外の研修が受けられる環境をつくっています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や施設見学を通して行っております。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	親睦会を設置し、新人歓迎会や忘年会、職員旅行などを実施しています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	面接、目標管理シートにて評価しています。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	法人内の居宅支援センターが窓口になっているが、なごみの家への入所が決った際には必要に応じて訪問、面接、電話等で本人と交流をし、相談等を聞いてます。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	法人内の居宅支援センターが窓口になっているが、なごみの家への入所が決った際には必要に応じて訪問、面接、電話等で家族と交流をし、相談等を聞いてます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族がその時一番必要としているサービスを見極め介護保険以外のサービスである医療、介護タクシー、公共事業、ボランティアなどの利用も含めた対応に努めています。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>見学に来ていただいたり、法人内のデイサービスやショートステイを最初に利用していただくなどして日中グループホームに遊びに来ていただき場の雰囲気に除々馴染めるように配慮しています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>盆栽の手入れを利用者の方に教わりながら行ったり、料理や掃除、洗濯物たたみを一緒に行っております。利用者の方の指導の下行っている夏のぬかづけ、冬の白菜の漬物は自慢の一品です。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>行事への参加を促し、利用の方、家族の方と一緒に喜怒哀楽を共にしております。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>双方の話をよく聞き今までの関係を理解し、より良い関係づくりが出来るよう配慮しています。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会場所の提供、手紙や電話をかける支援、馴染みの床屋や飲食店、植木屋、スーパーなどに連れて行く支援などしております。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>個々の利用者の方の特技を活かしたレクや行事、お手伝いなどをやっていただき誰もが主役になれるようにすることにより利用者の方同士が関わり合い、支えあえるように支援しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>困ったことや相談などには連絡あればいつでもの旨を伝えてあります。</p>		
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>				
<p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや、暮らし方の意向の把握に努め、ケアプランに繁栄させるようにしています。</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族、本人からよく話を聞くと共に、家族の同意が得られれば自宅へ訪問し情報収集を行います。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>複数の職員で利用者1人1人の現状を把握し、各自でケース記録に記入することにより情報を共有化している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>面会の際に本人家族の意見を聞いておき、必要な関係者でケアカンファレンスを開いてそれぞれの意見やアイデアを反映させたケアプランを作成しています。</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じて見直しを行うとともに、変化があった際には早急に本人、家族、必要な関係者と話し合い新たなケアプランを作成しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録へ細かい変化を記入し、モニタリング、ケアプランに活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体である法人と連携し、本人や家族の状況、要望に応じて柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	各公共機関などには便りを届けるなどして交流を図っています。消防との合同の避難訓練や小、中学生の慰問や体験学習の受入れ、図書館の利用、ボランティアの受入れ、民生委員の利用者への面会も協力しながら支援している一環です。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性に応じて、母体である法人の居宅事業所を窓口にして地域のケアマネージャやサービス事業所と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	H20年に発足した地域包括センターとは運営推進会議を通して関わりを持ち、関係を築くことをはじめました。権利擁護などに関しましては現在対象者がいない為協働していません。		対象者現われた際に、地域包括センターと協働したいと思います。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には提携している小林クリニックへの受診ですが、本人、家族の希望や意向があった際にはそれに従い、尊重するようにしています。又、必要に応じて適切な専門医による医療を受けられるよう支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医である小林クリニック、上武病院など近くの専門医に、相談、通院、治療ができるように支援しています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホーム専属の看護師と協力し日常の健康管理や医療活用の支援をしています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	グループホーム専属の看護師を通し病院関係者との情報交換や相談、連携に努めています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の際には、家族、本人、医療関係者と話し合いをもっており今までには、退所し自宅へ帰られた方、母体である法人の特別養護老人ホームへ移動された方、ぎりぎりまでなごみの家にて過ごし急変され病院へ移られた方などがおります。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	複雑な医療行為等はできないが、グループホームでできる範囲での支援を、グループホーム専属の看護師、主治医、家族とよく話し合いチームとして支援に取り組んでいます。		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	医療機関や介護支援専門員、家族、民生委員などと事前の入念な話し合い及び情報交換を行っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々の利用者に適した声かけ、守秘義務の厳守に勤めており、個人情報には鍵の掛かる場所に保管しております。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者本位の介護をなごみの家の理念にかかげており、個々の希望を反映させる為に何かをする際には必ず説明を行い、自己決定が出来るよう支援しています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の方の生活のペースを大切に、本人の希望を大切にしたい過ごし方が出来るよう努力しています。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>家族や職員と衣装や化粧品などを買いに行ったり、望む方には理容室等にいていただいています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の希望に関しては、給食会議を通して利用者の方の意見伝えていきます。又、日々食事準備や片付けなどを手伝っていただいています。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>現在喫煙者はありませんが、他の好みのものに関しては、個々の状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援しています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>生活リズムシートにより排泄チェックを行うとともに、その結果を活かした随時、定時のトイレ誘導、トイレ介助、PTイレ誘導、PTイレ介助を行っています。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>特に曜日や時間等は定めていないが週3回は入浴していただくように支援しています。又便失禁や尿失禁の際などには随時シャワー浴をしていただいています。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>食堂に設置したソファーやテーブル椅子、各居室でのベットにて個々に合わせ随時休めるようにしています。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>包丁とぎや盆栽の手入れ、漬物づくりなど利用者の方が得意としている物を教えていただいたり、様々なお手伝いを行っていただいています。又、カラオケや茶道、畑仕事、スポーツ鑑賞、映画鑑賞(時代劇)読書、書道、絵描きなどを行う為の支援を行っています。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的なお小遣いは、事業所で管理させていただいているが、本人、家族と協議して3人がまとまったお金を所持しており、1名が小銭のみを所持しています。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>法人内の敷地が広く、素晴らしい園庭に恵まれている為、悪天候以外は、ほぼ毎日戸外にてでています。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>定期的に、温泉旅行などの企画と実施、外食やふれあい作品展、市や町の文化祭、四季の花の見学、爆笑回や映画、コンサート、買い物、など様々の催しものへの参加を支援しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話、手紙のやりとりの支援しており、現在も事務所の電話を利用する方や家族に渡されている携帯電話を利用する方、職員や家族がハガキや便箋を用意し手紙のやりとりをしている方がおります。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の制限を設けないことにより、気軽に訪問できるようにしています。又職員が来客の方を笑顔で迎えると共に、居室などへの誘導、お茶出しを行っております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が理解できるよう研修の実施や、管理者が随時、注意、説明を行って身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は基本的には鍵は使用していませんが、職員が1人になってしまい目がいき届かなくなる際にはやむえず玄関に鍵をかけさせていただくことがあります。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	定期的に巡視や本人の位置確認は行っていますが自然に近い形で確認するとともに、居室等に入室する際には、必ずノック、声がけを行っています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の利用者の状態に合わせ、家族とも話し合い注意の必要な物品の管理、取り扱いを支援しています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメント委員会、事故防止委員会を立ち上げ事故防止にとりくんでいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に2回程度部署内での研修、看護婦主催の法人全体での研修行っております。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練、通報訓練、消火訓練を実施しています。又、地域に法人を通して働きかけを行っております。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所の契約時に説明を行っております。また、毎月の面会時に家族に説明、相談をし、抑圧感のない暮らしができるよう対応策を話し合っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル測定や日々の目配りにより個々の方の体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には発見者が管理者に報告、管理者は看護師に報告して対応しています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の方の薬に関する情報を、専用のファイルに職員が常時閲覧できるように設置し情報を共有すると共に、薬が変わった際には、看護師による説明を受けています。服薬の際は定時に渡していますが、必要のある方には介助しています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす原因を理解したうえで、飲食物に関しては管理栄養士が工夫した献立を提供して下さっています。又、毎日のリハビリ体操、レクリエーションを通して体を動かしていただいています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	利用者の方の入れ歯のポリドント消毒、毎食後の歯磨き、うがいを行っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士により、栄養バランスの取れた献立を使用しております。又、利用者の方のADLに合わせた粥、刻み食、ミキサー食の食事形態の実施、好みに合わせたおかずや水分など代替メニューの提供を行っております。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に関する研修の実施、職員が閲覧できる資料の設置、うがい手洗い、アルコール消毒の実施、季節の変わりめにバルサン消毒の実施、汚物や体液に触る際の手袋の使用などを行っております。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	夕食後はまな板をハイターに浸け置き消毒すると共に包丁などの随時のアルコール消毒、肉や魚類を切る際には牛乳のパックを使用し、食材は法人本部が仕入れた新鮮で、安全なものを使用しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲には、法人自慢の日本庭園、玄関には沢山の季節の草花を配置し、来客者をお出迎えしております。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間には、季節の花を飾ったり、季節の飾りの設置、利用者の方のレクリエーションで作成した、習字や貼り絵、塗り絵などの掲示、利用者の方の行事に参加した際の写真の掲示、法人や事業所の便りの掲示、入浴の際に季節のお風呂（桜湯、菖蒲湯、もみじ湯、ゆず湯など）の実施など行っております。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂に設置したソファーやテーブル椅子、各居室で気のあった利用者さん同士で過ごせるようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備えつけの流し、クローゼット以外は、テレビやコタツ、棚やタンス、仏壇、テーブル、椅子、ベット、飾り、盆栽、など各自好みの物を持ってきていただいています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日換気を行うと共に消臭剤の使用、食堂ホール、各居室への温室時計の設置、確認を行い調整しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々のADL によって過ごしやすいよう食堂の席位置や物の配置の工夫、各居室と廊下、食堂など段差のない造りで廊下、トイレ、浴室への手すりの設置、階段への階段昇降機の設置などを行っています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の方1人1人のわかる力を活かしてその方が何がわかるかを判断し、テーブル拭きや洗濯物たたみ、掃除や食器拭きなど役割を持っていただくなどして工夫しています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	恵まれた環境を活かし、広大な敷地の法人内の散歩、園庭への椅子やテーブルの設置、東屋の利用、建物内の中庭を利用して利用者の方の活動や楽しみに活かしています。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)